

【齋藤 愛見 講師 プロフィール】

- ・ 3 歳よりクラシックバレエを睦恭子に師事。
- ・ ロシアバレエインスティテュートにて、ゲンリフ A マイヨ-ロフ（ポリショイバレエ学校芸術監督）等に師事。
- ・ 東京バレエ団附属バレエ学校にて友田弘子（東京バレエ団ミストレス）、友田優子に師事。
- ・ 98 年よりフランス Cannes Danse International Rosella-Hightower に留学し、Rosella Hightower（元パリオペラ座ディレクター）に師事。在仏中にはバレエをはじめバーレキシブル、解剖学、ダンス史を学ぶ。またパリでも活動を行い、IDFP（パリ）にて高い評価を得る。01 年アメリカ留学。バレエ、コンテンポラリーダンス公演にソリストとして多数出演。ダンスミストレス、振付助手、アーティストックアドバイザーとして参加。
- ・ 指導者としては、都内バレエクラス講師を経て、つくば市公民館講座講師、2000 年にポワントヴェール BALLET CLASS 設立。02 年にバレエアーツ開業。10 年よりバレエアーツスクールを開校。
- ・（公財）日本オリンピック委員会強化スタッフとして新体操日本代表（団体）、トランポリン日本代表（男子）へのバレエ指導・コンテンポラリーダンス指導に従事経歴あり。その他、強化指定選手（体操女子ジュニア選抜、アーティストックスイミング、ラグビーセブンズアカデミー、スピードスケート等）、大学クラブ（新体操、トランポリン、男子新体操、競技ダンス等）へのバレエ指導、ダンス解剖学講師、公認コーチ認定講習会講師（コーチ 3、コーチ 4）を担当。
- ・ 新体操ナショナル強化医科学支援チームとして次世代ターゲットエイジ選抜選手、コーチ育成、強化プログラム作成に従事経歴あり。
- ・ 11 年より一般社団法人日本ダンスサイエンスアカデミー代表理事。バレエ指導者およびダンサーの養成を行なっている。また、バレエ教授法、バレエバイオメカニクス（生体力学）の研究者として、国内外において講演等を行う。日本体育大学大学院博士後期課程満期退学。体育科学修士。バレエ教授法および指導者養成について、ロシア国立舞台芸術大学（GITIS）、P.K.アノーヒン記念ロシア国立生理学研究所、国立研究大学高等経済学院と共同研究・事業を行っている。